

看護管理 第25巻 総目次

2015年(1～12月号)

表示は、著者名：題名、号数、掲載ページ。

特集

最期まであなたらしく生きることを支える「アドバンス・ケア・プランニング」—— 今後を見通したケアを計画する対話を通じた支援のプロセス(1月号)

宇都宮宏子：最期まで自分らしく“生ききる”ことを支える—— 病院と在宅の連携に基づく「アドバンス・ケア・プランニング」の推進を、1, 10-18.

後藤友美：患者の意思を尊重した「人生の最終段階における医療体制整備事業」、1, 19-24.

藤田愛：【実践報告：エンド・オブ・ライフケアの実践と課題】医療は高齢者を幸せにしているのだろうか—— 訪問看護師の立場から考察する高齢者・家族の意思決定支援と実現、1, 25-33.

高田弥寿子：【実践報告：エンド・オブ・ライフケアの実践と課題】心不全患者の質の高いエンド・オブ・ライフケアの実現に向けて、1, 34-42.

高道香織：【実践報告：エンド・オブ・ライフケアの実践と課題】肺炎で入院する認知症高齢者と家族への意思決定支援のプロセス、1, 43-51.

がん患者への意思決定支援の質を高める—— 診断時から終末期までを支える組織的取り組み(2月号)

濱口恵子：【インタビュー】「患者主体の意思決定」を支え続ける倫理的な組織づくり—— 外来機能の再編・強化とスタッフ育成の視点から、2, 118-124.

竹之内沙弥香：がん患者への意思決定支援の質を高める—— 診断時から終末期までの「意思決定支援」と「アドバンス・ケア・プランニング」、2, 125-133.

大谷弘行、安部陽子：病院あがての意思決定支援推進プロジェクト—— 医療者が困難を感じるポイントとは、2, 134-138.

早坂和恵、市川智里：看護部の教育プログラムに「意思決定支援研修」を組み込む—— 意思決定支援ができる看護師を育成するための国立がん研究センター東病院の実践、2, 139-143.

大堀洋子：【実践報告：東京女子医科大学病院の取り組み】大学病院が地域と取り組む看看連携—— がん患者のよりよい意思決定支援および生活支援を目指して、2, 144-149.

大内紗也子：【実践報告：京都大学医学部附属病院の取り組み】患者の意思決定を支える病棟文化の醸成を目指す—— 入院中の血液がん患者への多職種による支援から、2, 150-155.

中川和彦、アンドリュー・アンダーソン、秋山正子、田村恵

子：【座談会】英国・マギーズセンターの活動から考える—— 病院と地域が相互に補完するがん患者支援の理想形、2, 156-164.

杉本みぎわ：【column：暮らしの保健室から】がん治療施設が点在する新宿区に「暮らしの保健室」が存在する意義—— 病院と在宅の狭間で取り残される患者・家族を支える、2, 165-167.

「変化」に対応し看護の質を保証する看護提供方式の管理(3月号)

叶谷由佳：主な看護提供方式の種類とその特徴—— 看護提供体制の検討に向けて、3, 210-214.

西元勝子：看護を取り巻く状況の変化と看護提供方式—— 固定チームナースングが目指すもの、3, 215-222.

若本恵子：【実践報告：虎の門病院の取り組み】プライマリ・ナースングの質を維持する教育体制、3, 223-228.

鎮目美代子：【実践報告：慶應義塾大学病院の取り組み】その時代に最良の看護を提供するための慶應チームナースング、3, 229-233.

杉山さき：【実践報告：東京大学医学部附属病院の取り組み】新入職者を多く迎える病棟で効果を発揮したパートナーシップ・ナースング・システム、3, 234-239.

菅沼ふじ子：【実践報告：飯田市立病院の取り組み】固定チームナースングにおける人材育成の好循環、3, 240-245.

新任看護師長必読！—— 実践 チーム・ビルディング—— スタッフとともに、成長し続ける病棟・組織をつくる(4月号)

大西麻未：看護チームに求められる組織力—— チームのイノベーションを可能にする革新的風土とは、4, 294-299.

佐々木菜名代：病棟における「看護職のチーム・エンパワメントモデル」の構築と実践—— 組織変革を行う上での有効な方略として、4, 300-307.

保田江美：病棟内看護チームのチームワークは何をもたらすのか—— チームワーク研究から読み解く「看護チームワーク」を高めるマネジメントへのヒント、4, 308-312.

清水広久：異質性を前提としたチーム・ビルディング—— チーム医療と信念対立説明ワークショップの取り組みを通して、4, 313-317.

前野哲博、守屋文貴：【対談】「ノンテクニカルスキル」で今より強いチームをつくる—— 次世代の医療を担う多職種連携を実現するための実践的教育、4, 318-325.

石塚孝子：【インタビュー】ノンテクニカルスキルが「患者中心の医療」の質を高める、4, 326-327.

災害対応力の高い柔軟な組織へ——指示と行動を明確にする「マニュアル」と「訓練」(5月号)

長田恵子：災害対応において看護管理者が果たす役割——事業継続の観点からの柔軟な組織づくり. 5, 382-390.

濱谷寿子：病院における災害訓練のあり方. 5, 391-397.

高野奈津子, 海野友紀, 木島一美：【実践報告：東部地域病院の取り組み】アクションボードと視聴覚教材の作成・活用で各自の役割を可視化する——手術室における地震・水害対策. 5, 398-403.

小川明伸：【実践報告：愛知県がんセンター中央病院の取り組み】瞬時に行動をとるためのフローチャートと病棟マップ作成——災害発生時の効率的な業務遂行を目指して. 5, 404-409.

山崎列子, 伊井亮子, 堤谷貴江：【実践報告：かみいち総合病院の取り組み】病棟特性に注目した神経精神科閉鎖病棟における防災図上訓練. 5, 410-414.

新人看護職員研修努力義務化から5年——今こそ育てる「臨床看護教育」のスペシャリスト(6月号)

奥裕美, 佐々木幾美, 別府千恵, 三浦友理子：【座談会】今こそ育てる「臨床看護教育」のスペシャリスト——ケアの質を高める「臨床教育者」育成の方法論. 6, 468-475.

松谷美和子, 奥裕美：【臨床看護教育の専門家を育成する取り組み】聖路加国際大学大学院フューチャー・ナースファカルティ育成プログラム. 6, 476-481.

大山裕美子, 前田留美, 丸光恵, 井上智子：【臨床看護教育の専門家を育成する取り組み】東京医科歯科大学大学院看護キャリアパスウェイ教育研究センター. 6, 482-486.

西田朋子：【視察報告記】米国の医療施設における教育専従者の活躍. 6, 487-491.

ダニエル・クレス, 西川久仁子：看護教育者になるために——米国ジョンス・ホプキンス大学のオンラインによる修士コース. 6, 492-495.

クリスティーヌ・タナー, 池田葉子, 金子あや, 島田伊津子, 中村加奈子, 吉松佑佳：【インタビュー】学習者の「臨床判断力」を育む適切な学習支援方法とは——クリスティーヌ・タナー博士に聞く. 6, 496-501.

看護管理者のコンピテンシー——広がる取り組みと進化(7月号)

佐々木菜名代, 井部俊子, 倉岡有美子, 笠松由佳, 澤邊綾子, 武村雪絵, 吉田千文, 手島恵：日本看護管理学会が取り組む上級看護管理者の育成——コンピテンシーを基盤とした看護管理者研修プログラムの実施と評価. 7, 564-570.

別府千恵：北里大学病院における看護管理者のコンピテンシー——クリニカルラダーと連動させたキャリアパスの開発. 7, 571-578.

本誌編集室：【コラム】虎の門病院看護部「看護管理者のコンピテンシー・モデル」の概要——その特徴と活用方法. 7, 579-581.

門間典子, 庄子由美, 畠山里恵, 千葉まさ子, 阿部道代, 後藤悦子, 山内泰子, 神裕子：【実践報告：「看護管理者のコンピテンシー・モデル」の発展】マネジメントラダーとコ

ンピテンシー・モデルの融合——東北大学病院の取り組み. 7, 582-587.

佐藤八重子：【実践報告：「看護管理者のコンピテンシー・モデル」の発展】「達成重視」から「全てのコンピテンシー」へ, 2段階の導入を試みて——九段坂病院の取り組み. 7, 588-593.

橋本末子：【実践報告：「看護管理者のコンピテンシー・モデル」の発展】5病院合同の主任会議でコンピテンシー・モデルを学習——平塚共済病院ほかの取り組み. 7, 594-598.

地域包括的視点を重視した看護マネジメント“知識編”——お互いの強みを活かし、最後まで安心して暮らせる地域をつくるための知識と実践(8月号)

山田雅子, 小林正弥, 吉田千文, 宇都宮宏子：【座談会】“より善き生”を支えるための地域包括的視点に基づく看護マネジメント——「コミュニティアニズム」が紐解く, 真の地域完結型医療のありようとは. 8, 644-655.

長谷川泰子, 宇都宮宏子：京都府における看護連携に基づく地域包括ケアシステムの構築——先進地域としての成果と今後の展望. 8, 656-662.

樋口春美：患者中心の「地域看護連携」の創造——知り合い, 響き合い, 育ち合って地域全体の看護の質向上を目指す. 8, 663-668.

角田直枝：看護師の県内多施設共同育成の試み——現状の人員で, 地域全体の看護力を高めるために. 8, 670-675.

宇野さつき：コミュニティ全体のケアをつなぐ専門看護師としての活動から見えてきたこと——在宅がん患者への療養支援・地域緩和ケアにおける成果と課題. 8, 676-680.

福井小紀子, 齋藤訓子, 柏木聖代, 堀川尚子, 沼田美幸, 碓井瑠衣, 後藤友美：「訪問看護出向システム」から地域全体での看護人材の確保・育成策を考える——厚生労働科学研究「訪問看護事業所の新たな人材確保対策に係る研究」からの提案. 8, 681-687.

筒井孝子：地域包括ケアシステムにおける看護マネジメントとは——フランスの在宅入院制度(HAD)からの示唆. 8, 688-693.

①地域包括的視点を重視した看護マネジメント“実践編”——お互いの強みを活かし、最後まで安心して暮らせる地域をつくるための知識と実践(9月号)

児島由利江, 永田智子：専門性の高い看護師配置による地域包括ケア時代の新たなPFMシステムの構築——福島県立医科大学会津医療センター附属病院の取り組み. 9, 750-755.

樋口春美, 郡美代子, 澤田小百合：外来医療チームが中心に取り組む包括的な「在宅療養支援」——外来・入院・在宅のつながりを当たり前の文化に. 9, 756-763.

大下美智代：2つの病棟機能から地域の高齢者医療を支える——地域包括ケア病棟と高齢者急性期ケア病棟の開設. 9, 764-767.

出口まり子, 大西真奈美, 池田玲子：中規模ケアミックス病院が展開する「生活支援型医療」——組織体制の構築と

スタッフ育成. 9, 768-773.
黒柳弘美：行政が中心となり，広域に及ぶ地域の看護・ケアをつなぐ取り組み——北海道における看護連携を基盤とした在宅療養支援体制づくり. 9, 774-779.
三輪恭子：在宅医療連携拠点事業から「こぶしネット」での多職種協働へ——急性期病院が推進する「心が通い合う」在宅医療連携. 9, 780-785.

②「重症度、医療・看護必要度」とマネジメントの課題(9月号)

田中彰子：「重症度、医療・看護必要度」と看護マネジメント——地域医療構想時代の看護管理者の役割とは. 9, 788-793.
武井純子：【実践報告：相澤病院の取り組み】重症度、医療・看護必要度データを用いた病院の経営戦略. 9, 794-799.
澤本幸子：【実践報告：国際親善総合病院の取り組み】現場における管理行動の変化と看護師長の役割——看護必要度評価項目の改定を契機に. 9, 800-805.

真に現場で機能するeラーニング——主体的な学びやキャリアにつながるプログラム設計と運用(10月号)

保田江美，重田勝介，染谷裕：【座談会】オンライン教育を主体的な学び，キャリア支援につなげるための方法論——教育工学と看護学のクロストーク. 10, 870-879.
染谷裕：忙しい病院だからこそeラーニング！——ラーニングマネジメントシステムと院内のリソースを統合した教育体制. 10, 880-885.
小松理人：【コラム】市立豊中病院のeラーニングシステム構築に携わって——よりよいシステムにつなげるための企業側からのアドバイス. 10, 886-887.
吉川由香里，濱田正美：院内と地域の看護職員を対象とするeラーニングシステム——九州大学病院の取り組みから. 10, 888-894.
田中典子：院内教育へのeラーニングシステムの効果的導入と活用に向けた看護マネジメント. 10, 896-901.

看護師長のための——実践！「データマネジメント」(11月号)

鐘江康一郎：いま，なぜ，医療現場にデータマネジメントが必要なのか——組織をあげた「エビデンスに基づく意思決定」に向けて. 11, 966-975.
石井富美：病院経営にデータを活かす——看護部門のKPI設定と質評価指標としての活用. 11, 976-981.
小林美亜：看護マネジメントに活かすデータの戦略的活用——データと向き合うための基礎知識. 11, 982-988.
小西竜太，渡辺映子：準備期間6か月の「入院サポートセンター設置プロジェクト」——関東労災病院における効率的なデータ収集と効果的な分析ツールに基づく意思決定プロセス. 11, 989-994.
小林泰賀，中村由香：事務部と看護部で考える地域包括ケア病棟——苫小牧市立病院における病床機能検討プロジェクト. 11, 995-1001.

堀田春美，宮下恵里：看護管理者に求められる治療プロセスの質管理——済生会熊本病院における医療情報としての看護記録のデータ化. 11, 1002-1007.
村中維佐子，柄昌二郎，田邊博子：他部門との協働による看護必要度監査の精度向上——生長会府中病院の取り組み. 11, 1008-1011.

クリニカルナースリーダー——ケアプロセスの質を保証する新たな役割(12月号)

任和子：医療提供体制が変化する時代に，責任を持って患者に継続した看護を行うためのヒント——米国におけるクリニカルナースリーダーの役割と機能から学ぶ. 12, 1078-1083.
竹熊カツマタ麻子，ゴードイナ・ダーモディー：臨床看護実践の質を高め，ケアのアウトカム改善をリードするクリニカルナースリーダー（CNL[®]）の役割. 12, 1084-1092.
和田山智子：【コラム：米国でのCNL活動視察記・1】CNL研修から考察する日本の中間管理者の役割. 12, 1093.
角田みなみ：クリニカルナースリーダーとして病棟の完全母乳率を改善した経験から. 12, 1094-1097.
浦田喜久子，東智子：大学と病院のパートナーシップによる国際看護プロジェクト——わが国におけるCNLの育成と導入の実現に向けた取り組み. 12, 1098-1103.
水野道代，古谷佳由理：クリニカルナースリーダーのコンピテンシーを日本の看護系大学院において育成する取り組み. 12, 1104-1109.
村内千代：【コラム：米国でのCNL活動視察記・2】現場を分析し，変革する力を持つクリニカルナースリーダー. 12, 1110.

特別記事

井部俊子，イヴ・ジネスト，本田美和子：【座談会】ユマニチュードの哲学と技法——ユマニチュードは急性期病院から始まった. 1, 54-64.
檜山晃，浅香えみ子，任和子，守谷明子，佐々木理恵，孫大輔，土井賢治，川端みき，浅場香，志村季世恵，鈴木慈子：暗闇のソーシャル・エンターテインメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」医療者版を開催——暗闇体験から見つめ直す，温かな人と人との関係性——視覚以外のさまざまな感覚を駆使して，人の本能や本質に触れる体験. 4, 330-341.
中山昌美，飛田伊都子，折田義正，高橋弘枝：ワーク・ライフ・バランス推進の先進的施設における子育て支援策の成果と課題——JCHO大阪病院の取り組みから. 9, 807-812.
若命真裕子，田村敦宏，笹子宗一郎：看護師等免許保持者の離職時等の届出制度と看護管理者への期待. 10, 916-919.
野中千春：国立国際医療研究センター病院における——シミュレーションによる「リーダーシップアドバンス研修」. 11, 1014-1019.
武村雪絵：東京大学医科学研究所附属病院における病床再編の取り組み（1）病床再編時の看護管理——スタッフのモチベーションと看護の質をいかに維持し，高めるか. 8,

696-702.

佐藤博子, 武村雪絵, 須山寿子, 砂田純子, 一色裕美: 東京大学医科学研究所附属病院における病床再編の取り組み (2)【座談会】病床再編時の看護管理——スタッフのモチベーションと看護の質をいかに維持し, 高めるか. 9, 814-821.

佐々木美奈子, 武村雪絵: 東京大学医科学研究所附属病院における病床再編の取り組み (3)「学習する組織」づくりとしての考察. 10, 910-915.

実践報告

大内寿恵, 大槻美智子, 稲毛映子: 眼科外来における待ち時間短縮と患者サービス向上を目指した取り組み——対策を講じて3年後の変化. 1, 72-77.

研究報告

山岸暁美, 久部洋子, 山田雅子, 高橋則子, 鎌田良子, 福井小紀子, 石渡リキ, 森田達也: 「在宅の視点のある病棟看護の実践に対する自己評価尺度」の開発および信頼性・妥当性の検証. 3, 248-254.

佐藤夏美, 菅野真奈, 深堀浩樹: 病院スタッフが認識している多職種連携・協働の現状と課題に関する国内文献レビュー. 6, 504-509.

調査報告

時廣亜希子, 又吉慧: 看護補助者活用推進事業とその成果——看護管理者研修の受講者へのアンケート調査から. 12, 1114-1121.

TOPICS

堀井泰明: ベルギーの sTimul ケア倫理ラボに学ぶ看護倫理教育. 1, 66-70.

齋藤辰八郎: 病院デカから見た火災事故における管理者の責任——安部整形外科病院火災とホテルニュージャパン火災を重ねて. 5, 416-419.

前田貴彦, 辻本雄大, 藤本泰博, 平田研人, 上杉佑也, 伊藤大輔, 福田豊洋: 全国男性看護師会の活動と今後の展開. 8, 704-708.

西園マーハ文: 摂食障害について理解していますか——看護管理者が知っておきたい知識と対応. 10, 909.

松浦幸子: 島の医療を守りたい——離島看護研修プログラムの企画・運営. 11, 1020-1024.

NA レポート

本誌編集室: 市民公開講座「優しさを伝えるケア ユマニチュード」開催. 5, 421.

本誌編集室: 日本看護協会主催「看護の日」PR イベント——第5回「忘れられない看護エピソード」朗読会開催. 7, 627.

本誌編集室: 第19回日本看護管理学会の話題から——看護とデザインの協働が, 患者と医療者の QOL を支える——療養環境と勤務環境としての照明デザイン. 11, 1026-1029.

Special advertising page

技術動画で新人看護職員研修を強力にサポート! —— 医学書院「e ナーストレーナー」. 10, 902-907.

連載・シリーズ

おとなが読む絵本——

ケアする人, ケアされる人のために

柳田邦男

- (104) 冬でも生きている小さいのち. 1, 100-101.
- (105) ファンタジーの世界で遊ぼうよ. 2, 192-193.
- (106) 花のいのち, 人のいのち, しみじみと. 3, 276-277.
- (107) 木に育まれる人間のこころ. 4, 362-363.
- (108) 少女の心の危機と絵の力. 5, 448-449.
- (109) 生き物の眼差し, 人間の眼差し. 6, 534-535.
- (110) どんどこの中で育まれる生きる楽しさ. 7, 624-625.
- (111) なにをすることがいちばんいいか. 8, 730-731.
- (112) 疎外された少女に心の雪解けが. 9, 852-853.
- (113) 目に見えないものこそ大切な…。 10, 948-949.
- (114) どうぶつが生きるひとが生きる. 11, 1058-1059.
- (115) いのちを育む造形美, 鳥の巣讃歌. 12, 1152-1153.

うちの師長会・主任会——

学習する組織をめざして

- (13) 勝原裕美子, 奥田希世子: 聖隷浜松病院. 1, 1-5.
- (14) 田島由美子, 島立浩子, 宮坂さゆり, 鬼崎喜代美, 小林さち子, 山岸紀子: 諏訪中央病院. 2, 109-113.
- (15) 木村弘江, 水江麻紀子, 木村麻紀: 国立国際医療研究センター病院. 3, 201-205.
- (16) 佐藤三紀, 佐藤由枝, 室矢美奈子, 白畑郁子: 日本海総合病院. 4, 285-289.
- (17) 澤柳ユカリ, 早川みつほ, 久保山直美, 渡邊輝子: 済生会横浜市東部病院. 5, 373-377.
- (18) 大下美智代, 花田ゆかり, 寺田敦子, 永田しのぶ, 野崎浩子: 済生会八幡総合病院. 6, 459-463.
- (19) 米須久美, 荒瀬久美, 松井かずえ, 中西敬子: 大阪府済生会野江病院. 7, 555-559.
- (20) 川崎つま子, 内記幸枝, 井桁洋子: 東京医科歯科大学医学部附属病院. 8, 635-639.
- (21) 清水多嘉子, 長井優子, 稲城陽子: がん研究会有明病院. 9, 741-745.
- (22) 小松佐紀, 早坂素子: 母子愛育会総合母子保健センター愛育病院. 10, 859-863.
- (23) 野月千春, 堂園道子, 覚張慕: JCHO 東京新宿メディカルセンター. 11, 957-961.
- (24) 久米淳子, 松原紀子: 常滑市民病院. 12, 1069-1073.

看護事故の舞台裏

長野展久

- (13) 「カンガルーケア」中の観察はどこまで?. 1, 96-99.
- (14) 人工呼吸器の電源入れ忘れ事故. 2, 188-191.
- (15) クレンメ閉め忘れ・フリーフロー事故. 3, 272-275.
- (16) 異型輸血に隠れた「焦り」と「認識不足」. 4, 358-361.

- (17) エタノール誤注入事件. 5, 444-447.
- (18) 転倒・転落事故①適切な看護を受ける「期待権」. 6, 530-533.
- (19) 転倒・転落事故②身体拘束拒否後の転倒事故. 7, 620-623.
- (20) 転倒・転落事故③身体拘束をすり抜けて転落. 8, 726-729.
- (21) 認知症失踪事件. 9, 848-851.
- (22) 身体拘束の可否. 10, 944-947.
- (23) CV ポート感染をめぐる対応 —— チーム医療の盲点. 11, 1054-1057.
- (24) 消毒薬誤注射事件. 12, 1148-1151.

看護管理の現場を紐解く ——

ミッションを共有し、ともに価値を創り出す組織を目指して

武村雪絵

- (10) 人間観の変遷とマネジメント論の変遷④「責任・貢献・成果を欲する人間」. 1, 78-81.
- (11) 人間観の変遷とマネジメント論の変遷⑤「価値・知識を創造する人間」. 2, 170-173.
- (12) 共鳴を呼ぶ語り. 3, 256-259.
- (13) 変わる自己, 変わらない自己. 4, 344-348.
- (14) 変わる自己, 変わらない自己②. 5, 428-432.
- (15) 変わる自己, 変わらない自己③. 6, 518-521.
- (16) 看護管理の知を創ろう, 活かそう, つなげよう. 7, 612-615.

マネジメントの基礎を学ぶ ——

はじめての看護管理 7つのエッセンス

太田加世

- (10) リーダーシップを発揮する①. 1, 88-91.
- (11) リーダーシップを発揮する②. 2, 180-183.

回り道ナース

松本圭古

- (10) 話が違う! . 1, 87.
- (11) Youは何しに日本へ?. 2, 179.
- (12) 覚悟が決まった日. 3, 271.
- (13) 私たちは看護師だ. 4, 364.
- (14) すべての道は「キャリア」に通じる. 5, 451.
- (15) もし宝くじが当たったら… . 6, 536.
- (16) パレートの法則と「中堅」の力. 7, 626.
- (17)「自主的に学ぶ」とは(前編). 8, 732.
- (18)「自主的に学ぶ」とは(後編). 9, 825.
- (19) もう1人のゲバラ. 10, 933.
- (20) 資格にあぐらをかかない. 11, 1045.
- (21) 一度通った道ならば. 12, 1139.

実践! インストラクショナル・デザイン ——

効果的・効率的・魅力的な人材育成を目指して

浅香えみ子

- (9) 教授方法の選択と開発. 1, 82-86.

- (10) 教材の選択・開発. 2, 174-178.
- (11) IDにおける「評価」. 3, 260-264.
- (12) 参加したくなる研修. 4, 350-353.
- (13) 専門職者育成の強化と自律した学習者の育成. 5, 434-437.
- (14) IDを用いた看護管理. 6, 522-525.

新人看護師教育がうまくいく OJT のコツ —— 「理解」と「支援」から始める

西田朋子

- (9) 新人の成長を促す動機づけ「やる気がないわけではありませぬ」. 1, 92-95.
- (10) 仕事の見通しをつけるための関わり「先を予測しながら働くって難しい」. 2, 184-187.
- (11) 新人に対する OJT をあらためて考える「研修と先輩の指導のどちらが正しいの?」. 3, 266-270.

臨床現場で実践したい「倫理的合意形成」入門

吉武久美子

- (1) 看護管理者が知っておきたい「倫理的合意形成」の基礎知識. 4, 354-357.
- (2) 医療者と患者による倫理的意思決定の特徴を知る. 5, 440-443.
- (3) 看護管理における「合意形成」の視点とは. 6, 526-529.
- (4) 倫理リスクと合意形成のコミュニケーション. 7, 616-619.
- (5) 【実践編①】実践家のための倫理研修 倫理的トラブル回避と問題解決のための方法. 8, 722-725.
- (6) 【実践編②】よい話し合いの方法を学ぶ／ファシリテーション. 9, 844-847.
- (7) 【実践編③】院内で倫理研修を企画するためには —— 合意形成の体験を促進する研修の工夫. 10, 934-937.
- (8) 【事例編①】倫理研修の紹介「周産期医療における医師と看護師の協働」. 11, 1046-1049.
- (9) 【事例編②】院内の教育担当者とファシリテータ的役割を担う看護職の協働. 12, 1140-1143.

看護管理者としてよりよく生きるために 倫理課題とどう向き合うか

勝原裕美子

- (1) よりよく生きたい. 5, 422-426.
- (2) 病院というところ. 6, 512-516.
- (3) 気づく人, 気づかない人. 7, 606-611.
- (4) これって, 誰の問題?. 8, 710-714.
- (5) 「役割を生きる」①. 9, 832-837.
- (6) 「役割を生きる」②. 10, 920-923.
- (7) ジレンマと苦悩. 11, 1030-1035.
- (8) 「意思決定する」ということ. 12, 1122-1126.

ポジティブ・マネジメントの航海術 —— 組織変革の波を越える

市瀬博基

- (1) 集団の「活動」としての看護実践. 7, 600-604.
- (2) PNS 導入にみる「拡張による学習」のプロセス. 8, 716-721.
- (3) 庄原赤十字病院における「県民の森研修」の導入・1. 9, 838-843.
- (4) 庄原赤十字病院における「県民の森研修」の導入・2. 10, 924-929.
- (5) 庄原赤十字病院における「県民の森研修」の導入・3. 11, 1036-1041.
- (6) 虎の門病院におけるコンピテンシー・マネジメントの導入・1. 12, 1128-1134.

エビデンスと実践をつなぐ 量的研究論文の読み方・使い方

加藤憲司

- (1) 今なぜ、量的研究の論文に関する連載を始めるのか. 9, 822-824.
- (2) EBP の第 1 歩は、よい「問い」を持つこと. 10, 930-932.
- (3) 問いに合ったエビデンスを見つける. 11, 1042-1044.
- (4) 読むべき論文をどのように見つけるか. 12, 1136-1138.

新人看護師の組織社会化を目指すアサーティブ研修 教材の作成と学習展開

- (1) 松浦和代, 神島滋子, 大野夏代, 多賀昌江: 札幌市立大学が企画した卒業生へのアサーティブ研修. 9, 826-830.
- (2) 多賀昌江, 仁木恵美子, 松浦和代, 神島滋子, 大野夏代: ノン・アサーティブタイプ教材 (1)「オロオロの巻」. 10, 938-941.
- (3) 松浦和代, 小林瑞穂, 山本真由美, 神島滋子, 大野夏代, 多賀昌江: ノン・アサーティブタイプ教材 (2)「ドッカン」の巻」. 11, 1050-1053.
- (4) 大野夏代, 鶴有希, 多賀昌江, 神島滋子, 松浦和代: ノン・アサーティブタイプ教材 (3)「ネッチーの巻」. 12, 1144-1147.

書評

- 小谷洋子:『ナラティブホームの物語——終末期医療をささえる地域包括ケアのしかけ』. 6, 510.
- 吉村浩美:『看護コミュニケーション——基礎から学ぶスキルとトレーニング』. 8, 736.
- 川嶋みどり:『看護介入分類 (NIC) 原著第 6 版』. 11, 1062.
- 渋谷美香:『医療政策集中講義——医療を動かす戦略と実践』. 11, 1064.
- 川崎つま子:『今日から使う看護現場の基本交渉術』. 12, 1157.